

みんなのた場



高齡世代向けのお弁当作り 心を込め調理から配膳まで

北上ボランティア友の会

「おいしい」「丁寧に作ったね」。北上保健センター調理実習室にお母さんたちの楽しい会話が響きます。北上ボランティア友の会の会員たちで、高齢世帯に月1回配るお弁当の調理作業です。市社会福祉協議会北上支所から委託を受け、調理や配膳だけでなく食材の野菜なども提供しています。

作業を始めました。今回は野菜天ぷらを中心とした献立。自宅の畑で育てたカボチャ、しその葉、ササゲや手作りの漬物などを持参し、天ぷらを揚げたり、ご飯を炊いたりと、分担して手際よく調理していきま



出来上がったお弁当を前に集合した会員たち



おいしいお弁当を届けようと調理に励むメンバー

方もいまず」と会員以外からの支援にも感謝します。会員の佐々木てる子さん(75)は「野菜を提供して喜んでもらえるので、野菜作りの励みになります」と楽しさを語ります。

隣の部屋でお弁当容器に詰めます。「ここ並べるときれいだな」などと詰め方も工夫します。出来上がるも、7コースに分かれて配達です。お弁当を手渡すときは、会話をしてお年寄りの生活や健康状態を把握するのも大切な役目です。

鈴木会長は「お年寄りには楽しさに持っていきます。私たちも、ありがたそうに言われるのがうれしくて続けています」と話します。

現在、会員も配食希望者も募集中。配食の対象者は65歳以上の方などで、1回200円です。問い合わせは市社会福祉協議会北上支所 67・2031へ。

文化財 棟札

市指定文化財旧観慶丸商店の棟札 生涯学習課

棟札とは、棟上げの際に棟木に取り付ける、建物の建築由来や施工、大工、建築年月日などを記載した木札です。現存最古のものは岩手県平泉町の中尊寺にある保安三年(1172)年のもので、貴重な歴史資料、建築関係資料となっています。

市指定文化財旧観慶丸商店の東日本大震災による災害復旧工事は、平成28年から約1年をかけて行われ、平成26年の工事開始前段階で、2階和室の棟木に取り付けられた棟箱が発見されました。中には2枚の棟札と紅猪口(粉入

生涯学習課

簀、罎、櫛、一對の離人形が納められていました。棟札にはそれぞれ表に「天照皇大神」とあり、裏に「昭和三十九年(1944)四月、主 須田幸一郎 三十九才 大工棟 須田栄三郎 六十三

才」とあります。もう一枚は長さ約24寸、最大幅約7寸で、「昭和四年春三月起工 同五年春四月落成 主 須田幸一郎 三十九才 棟梁 須田栄三郎 六十三才 師 理照 謹書」と墨書されています。

棟札以外のものは女性の所持品で、市内のほかの旧家で発見されたものには、頭髪や白粉も納められています。その意味については今後の研究課題となります。



棟札(上)と、取り付き状況(下) 提供：文化財保存計画協会



キラッとパチリ



水産基盤整備推進室 角田 茂さん 68歳 神奈川県から派遣

経験豊富な漁港復旧に 宮城県職員だった経験を生かして地域に役立つ仕事をしたいと思い、仙台市、東松島市で任期付き職員としてきました。東松島市の任期満了後の今年4月、神奈川県から派遣

職員に採用され、石巻市に派遣されました。主に被災した漁港の復旧担当です。宮城県庁時代は道路や港湾整備の仕事が中心だったので、当時を思い出しながら仕事をしています。経験があるだけに、結果を求められる存在だと認識しています。新しい基盤を生かしたまちづくりが進むことを期待しています。

親子で地元食材の調理楽しむ



食育推進コーナー

JAIのまきはイオンモール石巻(株)の協力を得て、7月8日にイオンモール石巻で「親子でクッキング」を開きました。親子10組23人が参加し、「ひとめぼれ」東松島産のりを使った手巻き寿司と、JAI いしのまきの米粉を使ったフチパンケーキを作りました。子どもたちはJAI いしのまき女性部の部員に教えられながら、お母さんと一緒に調理を楽しみました。

健康推進課 (内線2609)

まちの話題

今年も再会 // 皆さんに感謝

大須浜祭りが8月11日、大須漁港で開かれました。東日本大震災犠牲者の追悼や支援者への感謝、人々の再会の機会づくりなどを目的に始まり、今年で5回目です。カラオケ大会、ライブ、灯籠流し、共催の「LIGHT UP NIPPON」花火大会が繰り広げられました。焼きウニ食べ放題やピザ、ゲームなどの店も並び、住民、帰省客、支援者らが再会と祭りを楽しみました。



雄勝地区

大須浜祭り

河北地区

飯野川歩行者天国

晩夏に華添える「ホコテン」

今年で46回目となる飯野川歩行者天国(通称ホコテン)が8月19日に開催されました。飯野川商店街のメインストリートが歩行者天国として開放され、小学生のYOSAKOIソランやフラなどのダンス、勇壮な太鼓の演奏が華を添えました。



ミニSLの乗車体験、飲食やおもちゃを売る屋台に行列ができ、ちょうちんの明かりが揺れる下で多くの人が行く夏を惜しまました。

動き素早く 訓練の成果披露

消防団桃生地区団の消防演習が8月27日、桃生総合支所駐車場で行われました。6分団14班(252人)が参加。男澤幸夫地区団長の訓示後、新入団員20人の紹介や機械器具点検などを行いました。続いてラッパ隊を除く13班が小型ポンプ操作競技を行い、日頃の訓練の成果を披露しました。競技終了後は分列行進を行い、統率の取れた動きを見せていました。



桃生地区

消防団桃生地区団消防演習

河南地区

和瀬夏まつり

故人の思い出 灯籠に映える

先祖と東日本大震災の犠牲者の供養を兼ねた「2017和瀬夏まつり」が8月15日、旧北上川河川敷の「和瀬水辺の楽校」で開催されました。夕蘭の中、和紙などで作られた色とりどりの灯籠約6,500個と切り絵灯籠12基に灯がともされると、会場は幻想的な雰囲気になりました。コカリナやバンドの演奏、たこ焼きや縮あめなどの出店もあり、多くの家族連れでにぎわいました。



子ども七福神が元気を贈る

牡鹿地区敬老会が9月10日、牡鹿保健福祉センター「清徳館」で開かれました。網地島を除く地区内から77歳以上の73人が出席。佐藤茂宗副市長の式辞などの後、88歳の28人に敬老祝金が贈られました。参加者を代表して遠藤良吉さん(奇磯浜)が謝辞を述べました。アトラクションでは、鮎川小の「子ども七福神」や鮎川婦人会の歌や踊りが披露され、楽しいひとときを過ごしました。



牡鹿地区

牡鹿地区敬老会

北上地区

にっこりタ市

古里の特産品いっぱいだね

お盆恒例の物販イベント「にっこりタ市」が8月12日、にっこりサンパークで開かれ、地元の人や古里でお盆休みを過ごす人たちでにぎわいました。取れたてのホタテやタコ、北上川産シジミ、塩蔵ワカメなどの特産品をはじめ、お盆用品のだんご粉など農産加工品も格安で購入できるほか、3時間限定の催しとあって注目を集めました。



街中にサウンド 750人が熱演

街中が演奏会場となる「トリコロー音楽祭」が8月27日、市内中心街で開催されました。14回目の今年はプロ、アマチュア合わせて過去最多750人が出演。16会場でジャズやロック、ポップスなどの演奏が響きわたり、街中は音楽ファンでにぎわいました。今回は中瀬公園に設置されたリボンアート・フェスティバルの特設ステージをメイン会場とし、ハイレベルな演奏を届けました。



石巻地区

トリコロー音楽祭

石巻地区

らいつ夏祭り

らいつ10万人達成 //

市子どもセンターらいつで8月19日、恒例の夏祭りが行われました。今年は来館者が10万人に達したことへの感謝も込められ、記念として、子どもたちが企画・制作した手形アートが披露されました。毎年恒例となっている、実行委員の子どもたちによる射的やボウリングなどの出店もあり、多くの子どもたちでにぎわいました。

